

令和4年度第1回瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会 会議録

日 時：令和4年6月7日（火）11時20分～11時50分

会 場：瑞浪市化石博物館 別館研修室

出席者 <協議会委員> 小栗 茂 （学識経験を有するもの）

島村 節男（学識経験を有するもの）

柴田 増三（社会教育関係者）

吉田 尚子（学校教育関係者）

<事務局> 水野 義康（館長）・柄澤 宏明

欠席者 <協議会委員> 西尾 京子（家庭教育の向上に資する有するもの）

1 委嘱状交付

教育長代理として、館長より委嘱状を交付した。

2 あいさつ

館長より開催の挨拶があった（内容は略）。

3 会長選出

瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の設置及び管理に関する条例第11条の6に基づき、会長を選出した結果、柴田委員が会長を務めることとなった。

4 報告事項

令和3年度事業報告について、特に質問や意見等はなかった。

5 協議事項

令和4年度事業計画について

1) 普及事業の充実

会 長：「土人形を作ろう」の定員が少くないか。

事務局：新型コロナ感染防止の点から2コースの定員を5名とした。但し、2回目と3回目は、2コースが合同で色付けを行うため10名が研修室で講座を受けることとなる。

委 員：定員を上回った場合、受講者を受け入れるのか

事務局：2，3名程度なら可能と思われるので講師と相談して決める。

2) その他

市内小中学校の美術館見学について

委 員：市内小学校の美術館見学が課題である。

委 員：むしろ、中学生に彫刻作品を見てもらいたい。また、彫刻は見るだけではなく、触れることで見学者が感じるものがある。コロナ対策で現在は難しいかもしれないが、

終息後は、以前のように彫刻に触って感じる体感展示を行ってほしい。

委員：小学校の出前講座やオンライン講座は可能と思われるが実現可能か。

事務局：作品をもって行き見せることは可能である。しかし、我々は、作品の創作者ではなく、その制作背景について語るができないため、充実した内容にすることは難しいと考える。

委員：全くそのとおりである。例えば、出前事業として天野作品を展示するとともに天野氏に制作背景などの話が聞けたら良いと思う。天野氏から作品にまつわる話を直接聞いた方が、子供たちが共感を得られ効果的であるので、実現可能か考えていただきたい。

会長：美術館には、作品について語ることでできる美術専門の学芸員がいるべきだと思うが、当市で実現は困難なことは承知している。市内には他分野の芸術家があり、例えば、ふるさと教育の時間などで協力を得られることに期待する。

6 その他

①文化施設再編について

委員：新博物館はいつできるのか。

事務局：現在は、教育委員会レベルで建設候補地の選定を行っていて、未だ具体的な計画を提示する段階にはない。